

# 多様な川づくり学ぶ

## GW三島 台湾・雲林県と交流

台湾の雲林県の幹部や雲林科技大学の教授ら16人が8、9日、人と自然が共生した多様な川づくりを学ぶため、三島市を訪れた。NPO法人グラウンドワーク(GW)三島の案内で源兵衛川などを



パネルディスカッションを行う参加者ら＝三島市の市民文化会館

視察し、「日台交流・河川整備フォーラム」も開催した。雲林県は台湾の中南部に位置し、大自然に囲まれている。人口は68万人。同大学とパートナーシップ協定を締結し、台湾水利署の多自然型川づくりにアドバイスも行っているGW三島が視察を受け入れた。フォーラムでは台湾

の3人が雲林県での「水辺環境整備の過去・現在・未来」「川づくりの方向性」「流域でともに学ぶ・社区大学の活動と成果」と題して話した。その後、参加者とGW三島の渡辺豊博専務がパネルディスカッションを行った。人と自然が共生するための河川整備の在り方を中心に議論した。「以前は住民のほとんどが河川に関心がなかったが、最近ではイベントなどを行い、興味をもつ住民が増えた」と話した。その中で、台湾の参加者は今回の視察や議論を通じて、行政と住民の間で調整を行う団体が必要であると感じた」と振り返った。

初日は源兵衛川をはじめ、市内の水辺を見学した。